

下水道機構の『新技術情報』 第121号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

年を越す前に散髪に行きませんか？切りたての髪型がなじむことを考えて毎年、新年を迎える2週間前を目途に散髪に行っています。ということで髪を切ってきました。=年の瀬ですね。今年メルマガ配信も残すところあと1回です。来週までどうぞお付き合いください♪

それでは、機構メールマガジン『新技術情報』第121号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・12月の技術サロンはEICA 東日本大震災調査研究委員会 EICA 米国ハリケーン・サンディ下水処理施設被害復旧調査団団長の中里氏をお迎えして開催しました

■機構の動き

- ・今週は、特に行事はありません

■Tea Break

- ・ビギナーズラック(研究第二部Y・Iさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、エコプロダクツ2013の様子をお届けします

■国からの情報

- ・12/13付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●12月の技術サロンはEICA 東日本大震災調査研究委員会 EICA 米国ハリケーン・

サンディ下水処理施設被害復旧調査団団長の中里氏をお迎えして開催しました。今回のテーマは、「米国ハリケーン・サンディ被害処理場の調査報告」でした。2012年10月米国東海岸にハリケーン・サンディが襲来し、下水処理場をはじめ、発電所、製油所、化学工場などが想定を超える高潮により被害が発生しました。そこで、米国の高潮被害対策を学び今後の災害対策に活かすとともに、東日本大震災津波災害を伝

えるという目的で調査団が結成され、9月に米国視察を行ったため、処理場の被害調査について、ご講演をいただくものです。

まず最初に、東日本大震災の津波による被害とハリケーン・サンディの高潮による被害の比較、そして、視察を行った4つの処理場の被害と復旧、調査報告書の提言（暫定）のご講演をいただきました。高潮と津波では準備時間が異なるものの、ハリケーン・サンディの高潮による全体被害額も、東日本大震災の津波による被害とあまり変わらない6.5兆円が生じたそうですが、多くの施設が比較的高台に位置していたりすることもあり、処理場の高級処理再開は1日から1か月後と早かったとのこと。FEMA（アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁）の存在、保険制度による速やかな復旧資金の供給、事前対応プログラムなど学ぶべきものがあつたというお話をいただきました。

さて、次回のサロンは、1月9日（木）17:00から18:00。ゲストには国土交通省水管理・国土保全局下水道部那須町村下水道対策官をお迎えして「横平成26年度下水道事業予算について」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○○。

○平成25年12月19日（木）13:30～17:30

行 事：平成25年度 第3回 第2審査証明委員会

場 所：下水道機構8階 特別会議室

内 容：平成25年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の
審議および質疑応答

。○○。

Tea Break（機構職員の感じるまま）

。○○。

●ビギナーズラック（研究第二部Y・Iさんからの投稿です）

私の職場は、年に一回、職場旅行に行く。今年は、ゴルフ組と釣り組に分かれた。釣りは真鶴から相模湾に出船で、狙いはアマダイ。私は釣り組。釣り組は6人で、うち4人は初めてということでした。そういうと全体としてはあまり釣れないのかなと思われがちですが、そんなことはありませんでした。

最初の一投目から竿が引かれている人がいた。釣り初めてのA氏。釣れたのは外道（釣りでは本命以外は外道という）の45cmのワカシ（ブリの子供）。そうこうするうちにあちこちで竿がたれはじめた。イトヨリ、40cmはあろうかというアジ、そして本命のアマダイ。ほぼ、一日中釣れている状況であった。そして、とどめは初心者の方M氏がなかなか釣れないマダイを釣った。まさにビギナーズラックである。この日は、早めに宿に着いたので調理場を借りて釣った魚をさばき、刺身、アマダイのコンビ締

め等をつくり、皆で舌鼓をうちました。

今回の釣りは、ビギナーが最初に釣り上げ、マダイまでゲットしたというようにビギナーズラックの日でした。初めてでもよい釣果を得て、おいしい刺身が食べられる。いつもこうした結果が得られるわけではありませんが、釣りは皆で楽しめるレジャーだと思います。

また、釣りに行くと時々思います。こうした魚が釣れる海や川の水質改善に下水道が少しでも貢献していることを。

-----。oO。

まる子の結まーる（皆様との交流の場です）

。oO。-----

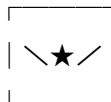
●今回は、エコプロダクツ 2013 の様子をお届けします

※こちらから→ <http://www.jiwet.or.jp/yuimaru2013-12-16>

*/**/*

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

*/**/*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション（2013. 12. 13 付国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



今月は、地球温暖化防止月間だそうです。気候変動枠組条約第 3 回締約国会議（COP3）が、平成 9 年 12 月に開催されたことにちなんだもの。丁度、今月の下水道政策研究委員会でも、「下水道の資源・エネルギー施策」を中心にご議論いただく予定です。今回より、テーマ別の検討に入ります。（今週のラインナップで紹介しています。）

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○第 3 回下水道政策研究委員会の開催について【下水道企画課】

○平成 25 年度補正予算について【下水道事業課】

○CommonMP 流域別下水道整備総合計画（流総計画）モデルの公開

【国土技術政策総合研究所】

- 淡海環境プラザで新技術の開発や技術・製品の展示を募集しています【滋賀県】
- 「いろは呑龍トンネル」の事後評価をしました【京都府】
- 講演会の開催について【堺市・JS】
- 「親子エコクッキング教室～下水道について学ぼう～」を開催しました【(公財)愛知水と緑の公社】

○第3回下水道政策研究委員会の開催について【下水道企画課】

第3回下水道政策研究委員会を下記のとおり開催いたしますので、お知らせします。

- ・日時：12月17日（火）15：00～17：00
- ・場所：公益社団法人 日本下水道協会 大会議室
- ・議事内容（予定）：
 - (1) 第2回委員会 委員意見の論点
 - (2) 下水道事業の持続的な運営に向けて（施設管理・運営体制・経営の現状）
 - (3) 下水道の資源・エネルギー施策について
 - (4) その他

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000225.html

第1回・第2回委員会資料について

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo_sewage_tk_000307.html

○平成25年度補正予算について【下水道事業課】

12月12日に、平成25年度補正予算が閣議決定されました。国土交通省においては、「好循環実現のための経済対策」（12月5日閣議決定）に基づき、「競争力強化策」（国費2,953億円）、「復興、防災・安全対策の加速」（国費5,598億円）及び「低所得者・子育て世帯への影響緩和、駆け込み需要及び反動減の緩和」（国費1,600億円）の3分野を重点として、必要な経費を積み上げております。（国費総額1兆151億円）

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo05_hh_000107.html

○CommonMP 流域別下水道整備総合計画（流総計画）モデルの公開

【国土技術政策総合研究所】

国総研では、水・物質循環解析ソフトウェアのための汎用プラットフォームであるCommonMPの要素モデルとして、流総計画策定時に必要となる河川汚濁負荷解析を行うためのモデルを構築し、無償公開しました。解析に必要なデータ項目や解析方法については、「流域別下水道整備総合計画調査 指針と解説 平成20年9月」に準拠しています。

詳細については、国総研下水道研究室ホームページの下記URLをご覧ください。

<http://www.nilim.go.jp/lab/ebg/commonmp.html>

- 淡海環境プラザで新技術の開発や技術・製品の展示を募集しています【滋賀県】

滋賀県では、下水道に関する技術開発や技術の普及促進を目的として、平成 25 年 4 月に「淡海環境プラザ」を開設しました。淡海環境プラザでは、琵琶湖流域下水道各浄化センターの施設、流入下水や汚泥等を利用した企業等の新技術開発支援を行うとともに、新技術開発の成果や企業等の新技術、製品を館内に展示するなど情報発信も行っています。

このたび、新技術開発支援の一環として、滋賀県との共同研究の募集ならびに各浄化センターにおける試験研究のためのフィールドや試料の提供を開始しました。共同研究にあたっては、滋賀県も、技術開発課題の提供や技術導入の検討、公的機関が行う技術評価等のサポート等、積極的に協力いたしますので、ぜひご応募ください。また、新技術、製品展示についても引き続き募集しています。詳しくは下記 URL をご覧ください。

<http://www.pref.shiga.lg.jp/d/gesuido/ryuiki/kyoudoukenkyu.html>

●「いろは呑龍トンネル」の事後評価をしました【京都府】

「いろは呑龍トンネル」は、桂川右岸地域である京都市（西京区、南区）、向日市及び長岡京市の一部を排水区域とする雨水対策の流域下水道です。全体計画（平成 35 年度完成予定）のうち北幹線を供用しているところですが、9 月の台風第 18 号等において事業効果を発揮していることから、事後評価を行いました。

事後評価においては、浸水被害軽減効果を検証するため、with/without で比較することとし、実績の降雨に対して浸水シミュレーションを行いました。排水区域を 25m の正方形に分割してモデル化し、国土技術政策総合研究所が開発した都市域氾濫解析モデル（NILIM2.0）を活用し、平成 22 年 8 月（台風第 4 号）及び平成 25 年 9 月（台風第 18 号）の降雨データを用いてキャリブレーションしました。

台風第 18 号については、被害軽減戸数 約 700 戸、被害軽減額 約 100 億円が推計され、もしも、今後整備する南幹線が完成していたならば、実際に発生した 106 戸の浸水実績が解消されていたと推計されました。この成果等は、平成 25 年 12 月 4 日の京都府公共事業評価に係る第三者委員会（委員長：小林 潔司 京都大学経営管理大学院教授）において公表し、事業目的が達成されていること、南幹線の整備を推進する必要があることが確認されました。

・京都府ホームページ（平成 25 年度京都府公共事業評価に係る第三者委員会）

<http://www.pref.kyoto.jp/k-hyoka/1420130001.html>

・京都府ホームページ（いろは呑龍トンネル）

<http://www.pref.kyoto.jp/gesuido/16400045.html>

・国土交通省ホームページ（災害報告～平成 25 年台風 18 号に関する被害概要、治水事業の効果等～）

http://www.mlit.go.jp/river/saigai_jouhou/h25/09typh18/tisui_mizukokudo0915.pdf

●講演会の開催について【堺市・JS】

堺市と JS では、堺市三宝下水処理場機能移転工事の完成と供用開始 50 周年を記念しての講演会を平成 26 年 2 月 14 日（金）10：15 から堺市総合福祉会館において開催いたします。

三宝下水処理場を核とした一連のプロジェクトは、機能移転・高度処理化・大規模

再生水利用等特徴的な要素が組み合った国内でも稀有なものであり、その遂行を通じて様々な経験・ノウハウが蓄積されてきました。更に、本プロジェクトにおいて設置された国内最大規模の MBR 施設をフィールドとして、官産学が一体となった共同研究も実施され、種々の新たな知見を得ることができました。本講演会は、これらの貴重な知見等を下水道事業に携わる方々へ広く紹介させていただくものですので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

プログラム、参加申し込み方法等の詳細は下記 URL をご覧下さい。

<http://www.jswa.go.jp/topics/kouenkai/251213kisyu.pdf>

●「親子エコクッキング教室～下水道について学ぼう～」を開催しました

【(公財)愛知水と緑の公社】

12月1日(日)に「親子エコクッキング教室～下水道について学ぼう～」を公社主催、愛知県と刈谷市に後援いただき、名古屋文理大学の協力を得て開催しました。

http://business3.plala.or.jp/awg/hp_gesui/pdf/H25kariyaoyakoryourikyousitu.pdf

(公財)愛知水と緑の公社では、水環境と下水道にやさしいエコレシピを名古屋文理大学の監修で作成しています。ぜひHPをご覧ください。エコレシピは自由に活用していただいて構いませんが、どんなイベントで使うのか連絡いただけると非常に嬉しく思います。

http://business3.plala.or.jp/awg/hp_gesui/index.html

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■「下水汚泥などのバイオマス資源有効活用技術講習会 in 熊本」の開催について

【土木研究所】

(平成26年2月6日、7日開催)

<http://www.pwri.go.jp/>

→12月6日掲載

■NP0 21世紀水倶楽部設立10周年記念シンポジウム「地球環境時代の下水道を考える」の開催について【NP021世紀水倶楽部】

(平成26年1月14日開催)

<http://www.21water.jp/>

→11月22日掲載

=====

【参考情報】

◆下水道接続補助、異例の執行断念<12/6 新潟日報>

<http://www.niigata-nippo.co.jp/news/national/20131206082624.html>

◆印南中に津波ぼうさい賞<12/10 日高新報>

<http://www.hidakashimpo.co.jp/news/2013/12/post-1206.html>

◆東部下水処理場で汚泥処理ガス発電／高松市議会<12/10 四国新聞社>

http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/administration/20131210000152

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/>

○ニューズレタークイズの答えはこちらから

→<http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>
